

新型コロナウイルス感染症軽症者等 の宿泊療養施設について

岐阜県 新型コロナウイルス感染症対策チーム

新型コロナウイルス感染症の現在の状況 (4/17現在)

国内の感染者 9, 167例 (死亡148名 退院1,012名)

県内の感染者

陽性者 136名

<内訳>

軽症・中等症 113名

重症 5名

死亡 2名

退院 16名

感染者数の推移 (岐阜県)



なぜ宿泊施設で療養するのか

- ➡ 現在、新型コロナウイルスの感染が全国的に広がっており軽症や無症状の方も入院されています。
- ➡ このままでは、入院による加療が必要な重症者や、重症化リスクが高い方の病床確保が難しくなります。
- ➡ そこで、国の方針として**都道府県が宿泊施設を確保し、軽症者等には当該施設で療養いただくこととなりました。**

どのような施設になるのか

➡厚生労働省が示す主な要件は、以下のとおりです。

- ・居室は原則バス・トイレ付きの個室
- ・一棟又はフロア単位で確保
- ・保健師又は看護師が日中は常駐
- ・医師はオンコール対応

候補施設にあがった理由

- ➡ 感染拡大が続く中、宿泊療養施設の開設は**急を要しており**、また、その運営にあたっては、**ある程度大きな規模の施設が効果的**といえます。
- ➡ 当該ホテルは、県内でも有数の**客室数の多いホテル**で、かつ、昨今のインバウンド需要の減少に伴い、**早期に客室を確保することが可能**な状況にあります。

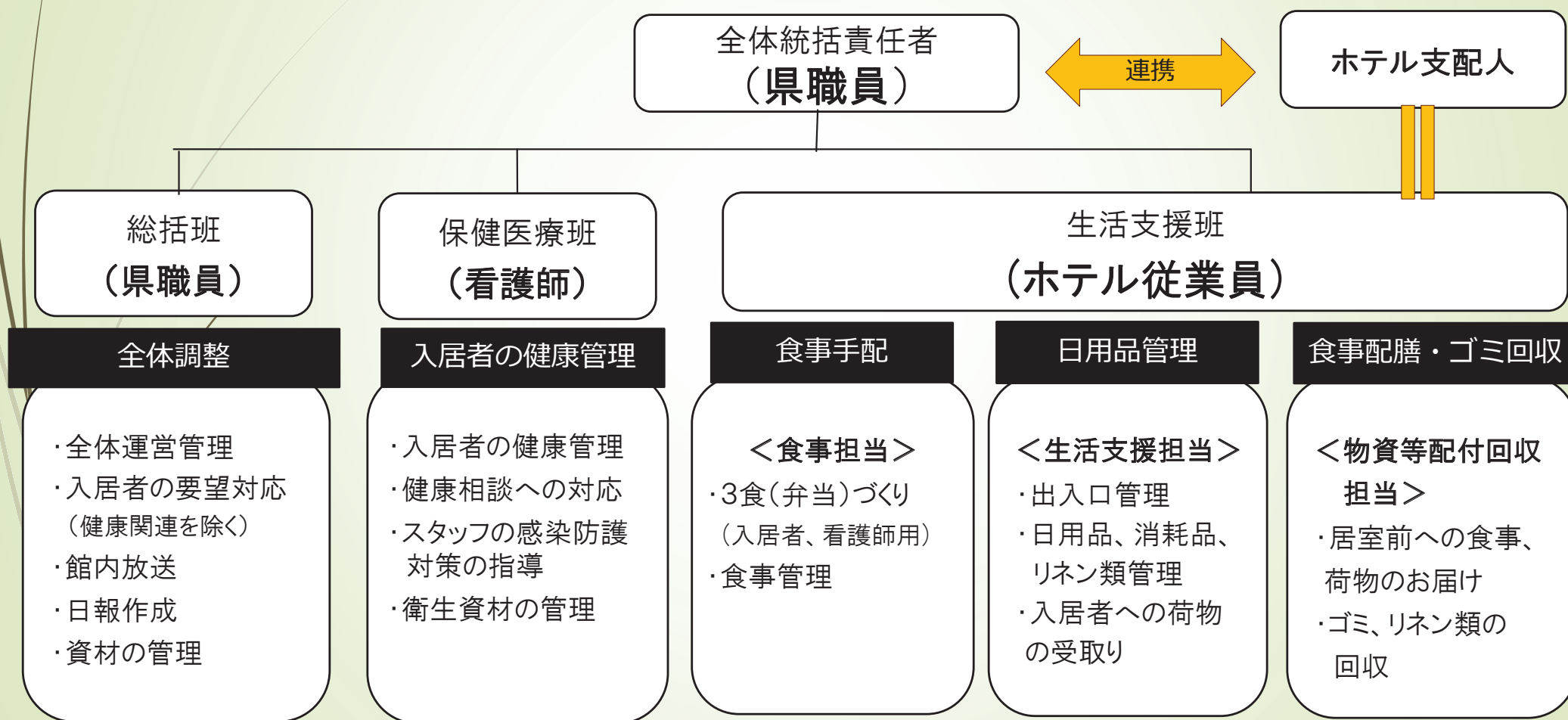
どのような人を受け入れるのか

➡ 無症状の方や軽症の方で、

- ① 高齢者
- ② 基礎疾患がある方
- ③ 免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方
- ④ 妊産婦

を除き、**医師が入院の必要がないと判断した方**です。

施設の運営体制は



入居者はいつまで滞在するのか

- 原則、入院患者が退院される際の基準と同じで、『2回連続でPCR検査での陰性が確認された場合』に帰宅可能となります。

※ 1回目の検査の後、24時間以後に再度検査します。

施設内で感染が拡大することのないよう、こういった対策を講じるのか

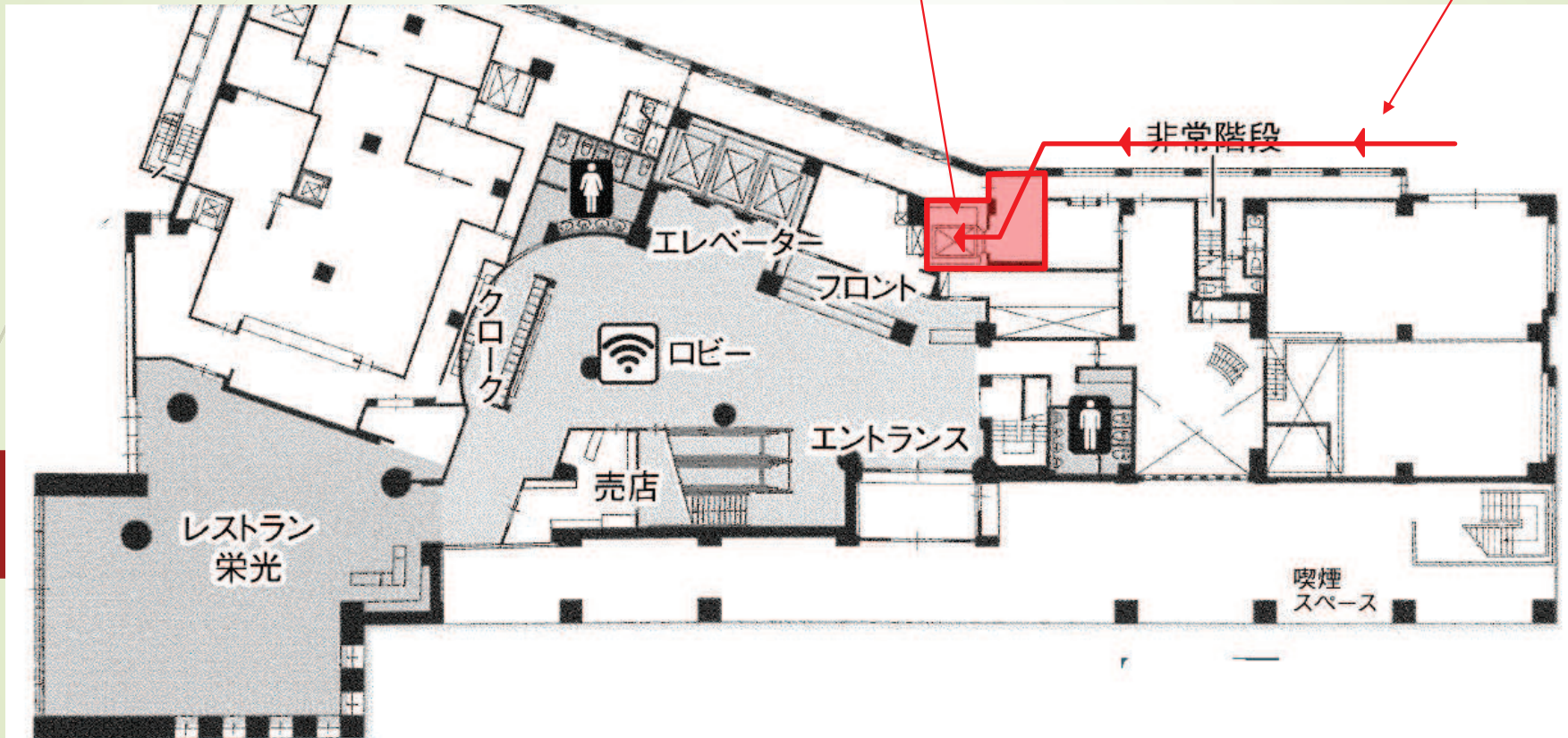
- 施設内での感染拡大を防止するため、入居者は原則、**割り振られた個室のみで生活**していただきます。
- 感染症の専門家のご指導のもと、スタッフ動線を考慮し、施設内を「レッドゾーン」及び「グリーンゾーン」に**明確に区分けしたうえで運営**します。

1F エントランスフロア

※入所ルートのみレッドゾーン

業務用エレベーター
(レッドゾーン)

入居者の入所ルート

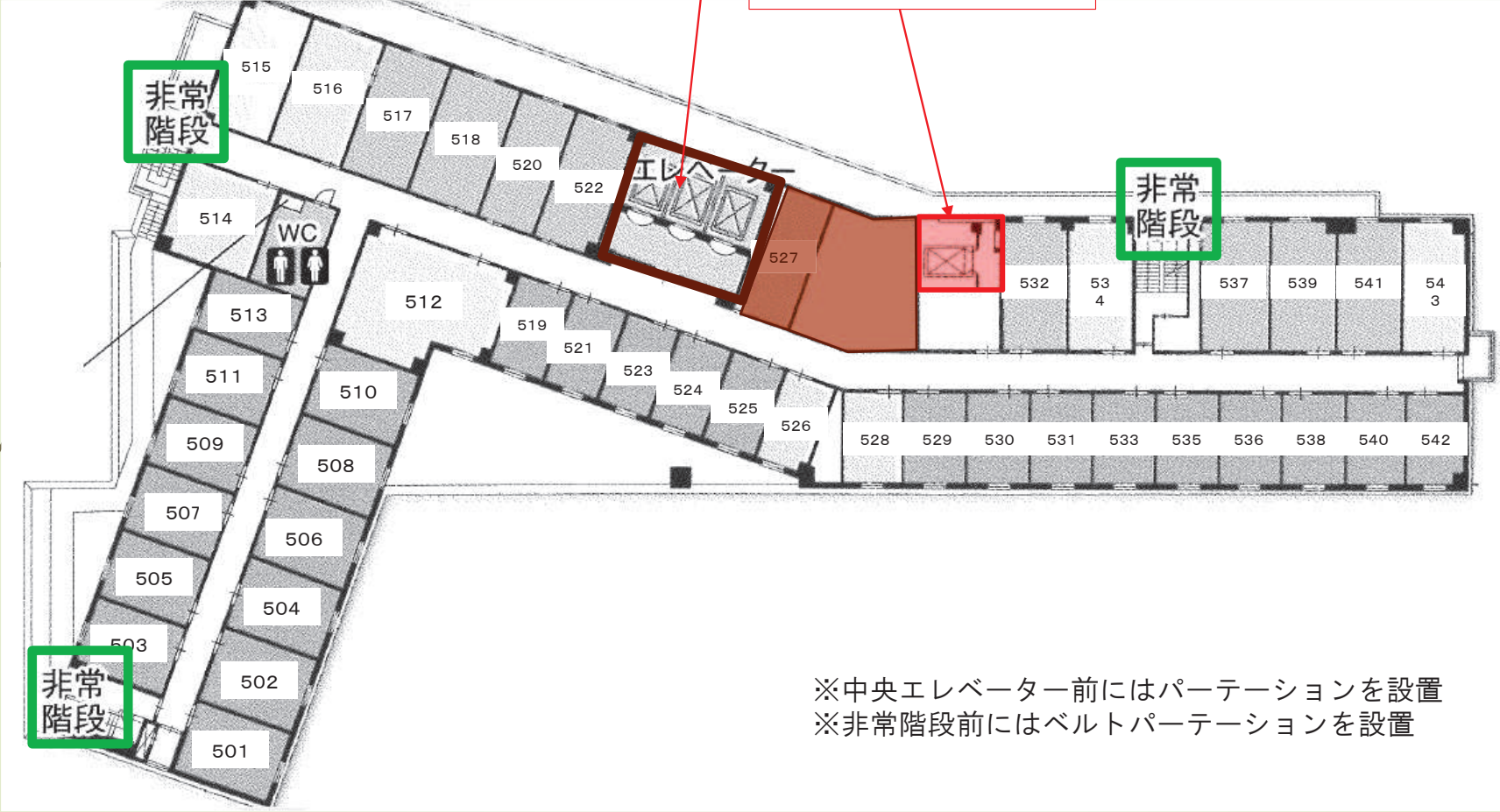


※裏口（2か所）に夜間警備員を配置

5F~10F 入居フロア
※中央エレベーターのみグリーンゾーン

中央エレベーター

業務用エレベーター



※中央エレベーター前にはパーテーションを設置
※非常階段前にはベルトパーテーションを設置

ホテル周辺（ホテルの外）に感染が広がる恐れはないのか ー①

- 入所にあたっては、保健所の移送車又は消防本部の救急車にて病院から搬送されるため、**入居者が公共交通機関や自家用車を利用して移動することはありません。**
- 関係者以外の施設立ち入りを制限するほか、入居者が個室外に出ることを原則禁止しますので、退所の日まで**入居者と地域の皆様が接触する機会はありません。**

ホテル周辺（ホテルの外）に感染が広がる恐れはないのか ー②

- 入居者の生活エリアから排出されるゴミやリネン類は、全て「感染性廃棄物」扱いとして専門業者により処分されるため、**一般ゴミと混ざることはありません。**
- **生活支援スタッフが入居者と対面する場面はない**ほか、保健医療スタッフも、原則として対面ではなく、タブレット端末等を利用するなど、対面機会は最小限です。

宿泊療養施設としての運営の終了後、施設はどうなるのか？

- 新型コロナウイルスの感染拡大が終息し、宿泊療養施設としての役割を終えた後は、施設内を清浄化し、元どおり営業いただきます。

受け入れはいつ頃終わるのか

- **当面、3か月程度を予定**していますが、状況により延長する場合も想定されます。
- 県としても、国や市町村、県民の皆様のご協力をお願いしながら、県内の感染拡大防止に、全力で努めてまいります。



宿泊療養施設について、

皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

【お問い合わせ】

岐阜県 新型コロナウイルス感染症対策チーム
後方施設確保班

TEL : 058 - 278 - 3568